

日本文學相關科目在應用日語學系的 定位與實踐 —以「日本名著選讀」為例—

呂 惠莉*

中文摘要

本文主要探討日本文學相關科目在應用日語學系之定位，並以「日本名著選讀」為例，陳述該課程之教學理念與實踐報告。在實用導向的應用日語學系，文學相關科目可定位為跨文化理解以及了解日本的一環。而從筆者所擔任的 2019 學年度「日本名著選讀」第一堂課的調查得知；應用日語學系學生對日本文學的興趣並不高。因此，為了提升學生的學習意欲，並實踐日本文學作品賞析與日語技能同時學習的「內容重視教育」目標，在指導法方面，筆者嘗試在課程中導入多元學習資源，並有效活用之。從學期末的問卷調查結果可看出；學生對日本文學產生了情意面的變化，學習動機也強化了。

關鍵詞：應用日語學系、文學相關科目、日本名著選讀、CBI、映像作品

*銘傳大學應用日語學系副教授

The Positioning and Practice of Japanese literature-related subject in Departments of Applied Japanese Using “Selected Readings in Japanese Literature” as an Example

Lu, Huei-Li*

Abstract

This study aimed to explore the positioning and teaching practice of Japanese literature related subject in the departments of applied Japanese. In practicability-oriented departments of applied Japanese, literature related class can be positioned as a part of cross-cultural understanding. According to the result of the survey from the first session of the “Selected Readings in Japanese Literature” class in 2019, the students from the departments of applied Japanese weren’t quite interested in Japanese literature. Therefore, in order to help the students to get motivation to learn and to apply “content-based instruction” with both Japanese literature and Japanese language techniques, in the aspect of instruction method, the author worked to implement diversified learning resources in the curriculum and used it flexibly and effectively. The result of the end-of-term questionnaire survey revealed the changes in the students’ affection for Japanese literature and the increase in their learning motivation.

Key words: Department of Applied Japanese, literature-related subject, Selected Readings in Japanese Literature, CBI, video works

* Associate Professor, Department of Applied Japanese, Ming Chuan University

応用日本語学科における日本文学関連科目の 位置づけと実践 －「日本名著選讀」を事例として－

呂 惠莉*

要旨

本稿は、応用日本語学科における日本文学関連科目の位置づけを考えた上、「日本名著選讀」を事例として、その指導の理念と実践を述べるものである。実用志向の応用日本語学科において文学関連科目は異文化理解や日本事情の一環として位置づけられるが、筆者が担当した2019学年度の「日本名著選讀」の授業開始時の調査で、学生の日本文学への興味は高いとは言えないことが明らかになった。そこで、学習意欲を引き出し、日本文学作品の鑑賞を介して同時に日本語学力を向上させる「内容重視教育」の目標が達成できるように、指導において多様な学習リソースを導入し有機的に活用することに努めた。その結果、授業終了時のアンケートから、学生の情意的変化と動機づけの強化という成果が見えてきた。

キーワード：応用日本語学科、文学関連科目、日本名著選讀、CBI、
映像作品

* 銘傳大学応用日本語学科副教授

応用日本語学科における日本文学関連科目の 位置づけと実践

－「日本名著選讀」を事例として－

呂 惠莉

1. はじめに

インターネットを通し、各大学の日本語学科¹が 108 学年度（2019 学年度）²入学生に適用する履修単位表を調べた結果、約 80.5%³の日本語学科が日本文学に関する科目を設けていた。しかし、開設科目数からみると、日本語文学科は応用日本語（学）科⁴を遥かに上回っていた。これは応用日本語学科と日本語文学科がそれぞれ異なる教育目標を持っているからである。学生が社会に出た時にすぐに現場で役に立つ、いわゆる実践的な知識やスキルを習得させることに重点が置かれた応用日本語学科において文学科目の果たす役割は何か、また教師はどのような指導を行うべきなのか。こうした問いを念頭に、筆者は長年「日本名著選讀」という科目で、様々な試行錯誤を行ってきた。本稿は、その実践報告である。考察に当たり、まず各大学の日本語学科における日本文学関連科目の実態を量的に把握し、そこから見出せる特徴を分析する。そして、応用日本語学科における日本文学関連授業の位置づけを考える。その結果を踏まえ、筆者が「日本名著選讀」の授業で試みたシラバス・デザインと指導法について報告する。最後に、学生による授業評価とアンケート調査を通して、学習効果を検証する。

日本文学の授業に関する実践研究に、林（2009）と張（2015）が

¹ ここで言う日本語学科は台湾における総合大学及び四技における「日本語文学系」「東方語文学系日文組」「應用日語學系」「應用日語系」「應用外語系日文組」のことを指す。

² 2019 年 9 月入学。以下は 2019 学年度。

³ 計 36 校中 29 校、詳しくは次の節の表 1、2 に示す通り。

⁴ 以下、総合大学及び四技において、応用が付いている日本語関連学科を合わせて応用日本語学科と称することにする。

ある。林（2009）は、文学作品を授業の題材として教えるとき、学習者はそれによって、読解力を深めたり、想像力を培ったり、心を養ったりすることができ、また、それは言葉の教育にも繋がっていると述べ、森鷗外の小説『高瀬舟』を例として、「名著選読」という授業で試みた文学作品の読み方と指導法を提示している。最後に、大きいクラスにおける文学作品の指導の困難点として、一人一人の学習者に発表させるのに時間がかかることや討論する時間もあまりないことを挙げ、その解決法として次のような二つの指導法を提出している。それはグループに作品を読んだ後、レポートを提出させる方法とキーワードを学習者に明示しながら文章を鑑賞することである。

一方、張（2015）は、担当した「日本小説選読」の講義で、芥川龍之介の『蜘蛛の糸』と『地獄変』をテキストに用い、文学アニメ『青い文学シリーズ』として製作されたDVD教材『蜘蛛の糸／地獄変』を副教材として実施した授業の実践について報告したものである。張（2015）は、受講生のアンケートや評価課題として提出されたレポートを分析した上、アニメ化された文学教材を導入した場合の学習効果やアニメを日本文学教材として活用するメリットと可能性について考察している。そして、こうした授業実践事例を手がかりに、アニメをはじめとするマスメディア経由で入手できる映像教材を、異文化理解を目指す日本語教育に応用する際の留意点と限界を見極めると同時に、日本語学習教材としての映像教材の評価の多元化に寄与できるだろうという結論にたどり着いている。

林（2009）と張（2015）は、いずれも日本語文科学科での実践事例であり、特定の作品に関する考察である。これらの実践研究は日本語学科における日本文学の指導に大いに示唆を与えてくれた。それに対して、本稿は、応用日本語学科の教育の視点に立ち、そこにある日本文学関連科目の位置づけを考えた上、「日本名著選讀」を事例として、その授業デザインを述べるものである。

2. 各大学における日本文学関連科目の開設状況

2.1. 履修単位表による調査

最新情報を把握するため、インターネットを通し、各大学日本語学科の2019学年度入学生に適用する履修単位表⁵から科目名に「日本文学」、「日本名著」、「日文（語）小説」などのキーワードを持つ科目を取り上げ、次の表1と表2にまとめた⁶。

表1:日本語文学科における日本文学関連科目表

日本語文学科				
大学・学科名	科目名	必/選	履修学年	単位/時間
台湾大學日本語文学系	日本童話選讀上下	選	2上2下	2/2 2/2
	日本文学與文化導讀	選	2下	2/2
	日本文学史上下	必	3上3下	3/3 3/3
	日本文学名著選讀上下	必	3上3下	2/2 2/2
	日本近現代文学選讀上下	必	4上4下	2/2 2/2
	日本古典文学專題研究上下	必	4上4下	2/2 2/2
	日本古典文学選讀上下	必	4上4下	2/2 2/2
中國文化大學 日本語文学系	日本近代文学導讀	選	3上	2/2
	日本近代文学賞析	選	3下	2/2
文藻外語大學日本語文系	日本小説選讀	選	4上	2/2
	日本名著賞析	選	4下	2/2
	日本現代文学	必	3上3下	2/2 2/2
	日本文学史	選	3上	2/2
東吳大學日本語文学系	日本故事選	選	2上2下	2/2 2/2
	日本小説選讀	必	3上3下	2/2 2/2
	日本近代文学史	選	3上3下	2/2 2/2
	日本名著選讀	選	4上4下	2/2 2/2
	日本古典文学史	選	4上4下	2/2 2/2
	日本古典文学	選	4上4下	2/2 2/2
東海大學 日本語文化学系	日本近現代文学賞析	選	3下3下	2/2 2/2
政治大學日本語文学系	日本名著選讀B	選	3上3下	2/2 2/2
	日本文学史	選	3上	2/2
	日本現代文学賞析1・2	選	3上3下	2/2 2/2
	日本專題研究B	選	4下4下	2/2 2/2
淡江大學日本語文学系	日本名著選讀(一)(二)	必	3下4上	2/2 2/2
	日本文学史	選	4上	2/2
輔仁大學日本語文学系	日本名著選讀	必	3上3下	2/2 2/2
	日本古典文学	必	4上4下	2/2 2/2
	日本近現代文学	必	4上4下	2/2 2/2
靜宜大學日本語文学系	日本近代文学史(一)(二)	必	3上3下	2/2 2/2
	日本児童文学	選	2上	2/2
	日本近代小説選讀	選	3上	2/2
	日本現代小説選讀	選	3下	2/2
	日本近代詩歌選讀	選	3上	2/2
	日本古典文学史	選	4上	2/2 2/2
高雄大學 東亞語文学系日語組	日本児童文学I II	選	2上2下	2/2 2/2
	日本文学史	選	3上	2/2
	日本文学選讀	選	3下	2/2
慈濟大學 東方語文学系日文組	日本文学史(一)(二)	選	3上3下	2/2 2/2
	日本現代小説選讀	選	2下	2/2
	名著選讀(一)(二)	選	4上4下	2/2 2/2

⁵ 各大学日本語学科の2019学年度（2019年8月～2020年7月）入学生の「課程架構表」を参考にした。

⁶ 学科名と科目名はそのまま中国語で示すことにする。

表1から分かるように、11校のすべての日本語文学科に日本文学関連科目が設けられ、開設率は100%に達している。それに対して、下の表2に示したように、応用日本語学科25校のうち日本文学関連科目が開かれているのは18校で、全体の72%を占めていた。日本語文学科と応用日本語学科を合わせると、約80.5%の日本語学科が日本文学関連科目を設けている。その科目名は多種多様であり、開講科目数は29校⁷合計で約73科目ある。

表2: 応用日本語学科における日本文学関連科目表

総合大学の応用日本語学科				
大学・学科名	科目名	必/選	履修学年	単位/時間
銘傳大學應用日語學系	日本文學概論(1)(2)	選	4上4下	2/2 2/2
	日本名著選讀(1)(2)	選	4上4下	2/2 2/2
	日本文學與媒體(1)(2)	選	2上2下	2/2 2/2
大葉大學應用日語學系	日文故事選讀	選	2上	2/2
	日本文學史(一)(二)	選	4上4下	2/2 2/2
	日本近現代文學選讀	選	4上	2/2
	日本古典文學選讀	選	4下	2/2
真理大學應用日語學系	日本名著選讀	選	3上3下	2/2 2/2
	日本文學史	選	4上4下	2/2 2/2
中華大學應用日語學系	日本故事選	選	2下	2/2
	日本名著選讀	選	4上	2/2
中山醫學大學應用外國語言學系	日本短編故事選	選	1下	2/2
義守大學應用日語學系	日本文學概論	選	3上	2/2
元智大學應用外語系日文組	日本児童文学	選	2上	2/2
	日本文學導讀	必	3上	3/3
	日本名著選讀	選	4上	2/2
明道大學應用日語學系	日本文學名著選讀(一)(二)	選	4上4下	2/2 2/2
長榮大學應用日語系	日本文學概論 I II	選	2上2下	2/2 2/2
	現代日語小説選讀 I II	選	4上4下	2/2 2/2
玄奘大學應用外語學系日文組	日本現代文學	選	4下	2/2
	日本名著選讀	選	4下	2/2
屏東大學應用日語系	日本名著賞析(一)(二)	選	3上3下	2/2 2/2
	日本現代文學導讀與討論(一)(二)	選	4上4下	2/2 2/2
實踐大學應用日文學系	日本近現代文學與社會	選	3下	2/2
開南大學應用日語學系	なし			
四技の応用日本語科				
大学・学科名	科目名	必/選	履修学年	単位/時間
育達商業科技大學應用日語系	日本文學概論	選	4上	2/2
台中技術學院應用日語系	日本名著賞析	選	1上	2/2
高雄餐旅大學應用日語系	日本文學欣賞	選	4上	2/2
高雄科技大學應用日語系	日本近代文學導讀 I II	選	2上2下	2/2 2/2
	日本名著選讀 I II	選	3上3下	2/2 2/2
	日本文學世界與語言 I II	選	4上4下	2/2 2/2
致理技術學院應用日語系	日本名著選讀	選	4下	2/2
吳鳳科技大學應用日語系	日本現代小説選讀	選	3下	2/2
修平技術學院應用日語系	なし			
高苑科技大學應用外語系日文組	なし			
景文科技大學應用外文系日文組	なし			
南台科技大學應用日語系	なし			
南榮科技大學應用日語系	なし			
大仁科技大學應用外語系不分組	なし			

⁷ 日本文学関連科目が設けられていない7校を除く。

2.2. 各大学の開設科目数と科目のタイプ

履修単位表は各学科の開講科目と卒業および資格取得に必要な要件を一覧にした表である。入学する年度により、多少異なる場合もある。履修単位表に載せてある科目は学科側の都合や履修人数が足りないなどの理由で実際に開講しない場合もあり、そこから各学科の開講科目の傾向が窺えると考える。以下の分析は、主に2019学年度入学生に適用する履修単位表のデータに基づくものである。まず、各大学の日本語学科の履修単位表に載せてある文学関連授業の科目数を、図1にまとめた。

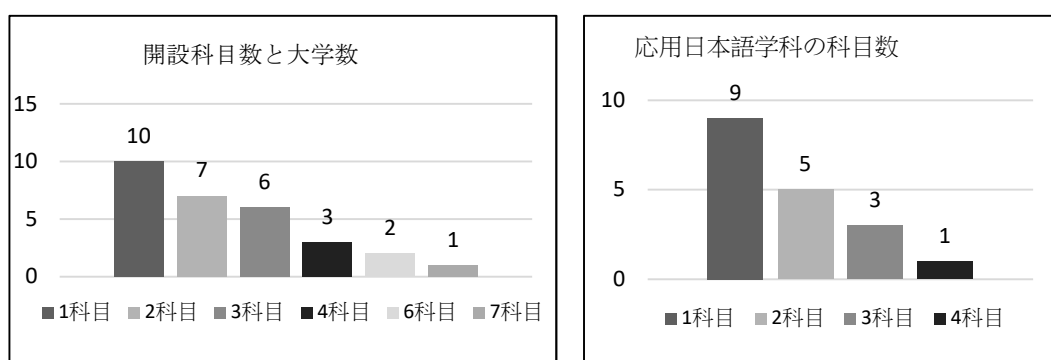


図1: 開設科目数と大学数

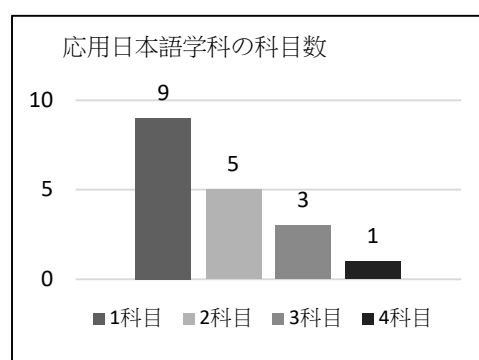


図2: 応用日本語学科の科目数

図1に示したように、6、7科目が開設されている大学も見られるが、表1と照らし合わせれば分かるように、これらはいずれも日本語文学科の場合である。そして、1科目しか開講されない大学が最も多く、10校に達している。そのうちの1校は東海大学で、開設されているのは「日本近現代文学賞析」という科目である。その他の9校は、図2に示したように応用日本語学科である。

一方、科目名を見ると、下の図3に示したように73科目の中で日本の近現代文学に関わる科目がもっとも多く、19科目あり、全体の26%を占めている。例えば、「日本近現代文学選讀」「日本近代文学賞析」「日本現代文学賞析」「日本近代小説選讀」「日本現代小説選讀」などが挙げられる。続いて、「日本名著」が付いているものが17科目あり、全体の23%を占め、中には、本稿の研究事例と同じく、「日本名著選讀」を科目名とするものもあれば、「賞析」がついて「日本名著

賞析」となるものもある。そして「日本文学史」「日本古典文学」「日本文学概論」「日本児童文学」などの科目が設けられる。

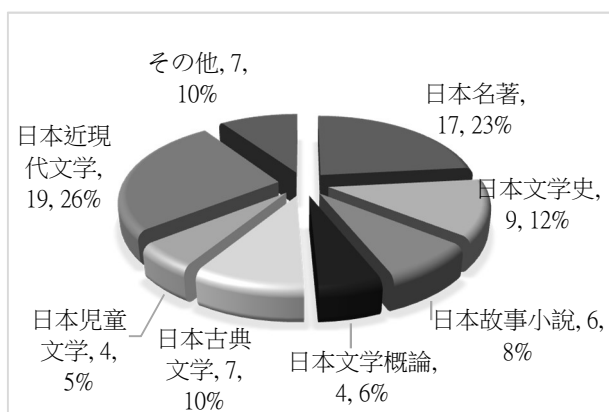


図3: 科目名について

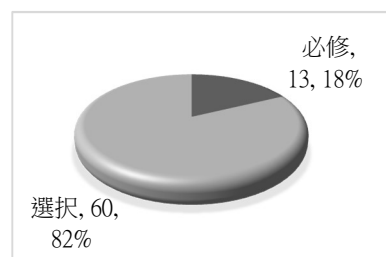


図4: 必修か選択か

また、必修科目か選択科目について調べた結果、図4に示すように、必修科目より選択科目として設けられている場合が多かった。中でも、選択科目は60あり、全体の82%を占め、必修科目は13で、全体の18%程度であった。

3. 応用日本語学科における日本文学関連科目の位置づけ

林（2009）は、銘傳応用日本語学科のカリキュラムにある諸科目を日本語能力類と専門分野別に大別し、三、四年生のカリキュラムを次の表3のように分類している。

表3: 銘傳のカリキュラム分類表⁸

日本語能力	科目の分類		科目名	社会のニーズ
	四技能類	話す	聞く	
読む			高級日語讀本	
書く			日語習作	
訳す			日語翻訳	
その他			日語文法	
専門分野別	日本事情類		日本文化概論 日本歴史、日本地理 日本現勢	基本の文化 リテラシー能力
	応用日本語類		商業日語會話 日語商業書信 観光日語	基本の就職上の 実用能力

⁸ 林（2009）より引用。

	職種別の 専門分野類	日本企業組織與管理 日本經濟 國貿理論與實務	ビジネスマンの 専門知識と技能
		日語教育學概論 日語教學法 語言學概論	日本語教師の 専門知識と技能

表3は三、四年生のカリキュラムであるが、基本的には、一、二年生の履修科目は初級日本語に関わる四技能の科目が中心となっているので、それは一般日本語、つまり JGP⁹の範疇にあると言えよう。それを土台に三、四年生になると、JGPの延長として中上級日本語の科目が設置される以外に、ある特定目的のための日本語科目（JSP¹⁰）や、専門知識をメインとする科目が多く取り入れられる。これは台湾の応日系のカリキュラムに見られる共通点でもある。これらの科目を類型化するのは容易ではないが、ここでは、JGPとJSPの概念を念頭に、林（2009）の分類を基に、筆者が勤務する大学の応用日本語学科のカリキュラムを例として、その教育内容を次の図5のようにまとめた。それにより応用日本語学科における文学関連科目の位置づけを考える。

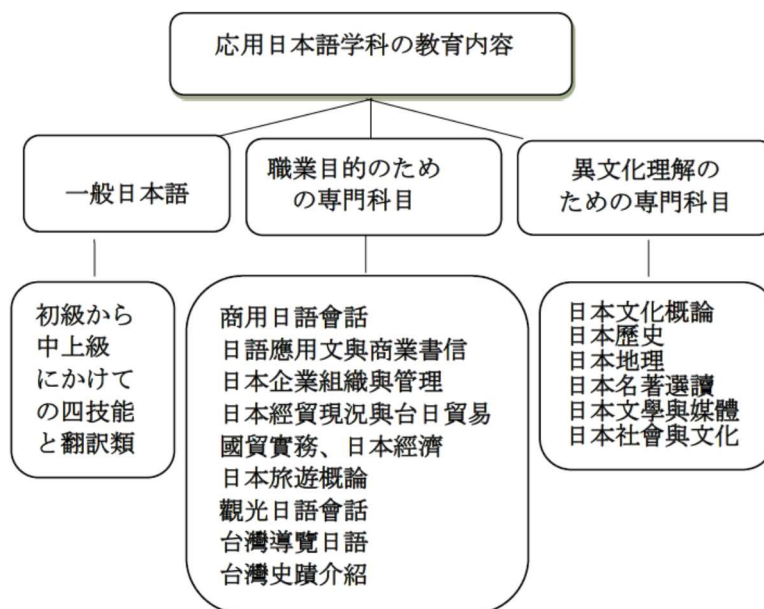


図5: 応用日本語学科の教育内容

⁹ Japanese for General Purposes（一般日本語）

¹⁰ Japanese for Specific Purposes（特定の目的のための日本語）

図5に示したように、応用日本語学科の教育内容を大別にすると、「一般日本」「職業目的のための専門科目」「異文化理解のための専門科目」の三種類がある。まず、「一般日本」は、一年生から四年生にかけて長期に渡って、学習する日本語の四技能及び翻訳技能に関わる基礎と応用であり、その中には会話、聴解、作文、読解、文法、翻訳などのような科目がある。これは、林（2009）の分類にある「日本語能力」類に当たるものである。

次いで、「職業目的のための専門科目」は、林（2009）の応用日本語類と職種別の専門分野類を統合したものであり、学生の職業能力の養成を目標とする科目を指す。教育内容は一般日本語では扱わないような特定の職業の特殊な用語や表現などの日本語のスキル及びある職種に特化した専門知識を中心としたものである。例えば、ビジネス日本語会話、ビジネス文書、観光日本語、日本経済、日本観光概論、台湾ガイド日本語などのような科目である。

そして、「異文化理解のための専門科目」は、文化リテラシー能力の養成を目指したものであり、日本文化概論、日本歴史、日本地理、日本文学など、日本理解や日本事情に関わる科目を指す。本稿の実践事例である「日本名著選讀」を含む文学関連科目はこのタイプに属する科目だと考えられる。また、筆者が勤務する学科では教育目標の一つとして「人文素養に富む人材の育成」が掲げられている¹¹。

「日本名著選讀」のような日本文学関連科目は、こうした教育目標を目指す授業だと言えよう。

4. 「日本名著選讀」における授業デザイン

4.1. コースの概要

筆者が勤務する大学の応用日本語学科では、2019学年度入学生適用の履修単位表によると、文学関連科目として「日本名著選讀」「日本文学概論」「日本文学與媒体」の三科目が設けられている。しかし、

¹¹「培養具人文素養能解決問題能力的人才」

学科全体の開講単位数の制限で、毎年実際に開講される科目はその中の二科目である。2014学年度以前は「日本名著選讀」と「日本文學概論」の二科目が開講されていたが、2014学年度より新しい科目として「日本文學與媒體」が設けられた。以来、開講される科目は「日本名著選讀」と「日本文學與媒體」が定番になっている。

「日本名著選讀」は選択科目として四年生を対象にセメスター制¹²で前期と後期に分け、「日本名著選讀(1)」と「日本名著選讀(2)」という科目名で開講される。履修単位数は、一学期2単位であり、学生は週に2コマの授業を受講する。クラスサイズは、65名～75名程度であり、本稿で実践例として取り上げた2019学年度のクラスは履修者が70名のクラスであった

「日本名著」と言っても必ずしも文学作品とは限らないが、筆者が勤務する学科においては、「日本名著選讀」は日本文学関連科目の一環として位置づけられ、日本近代文学の知識及びその作品に関する読解力と鑑賞力を身に付けさせることが学習の到達目標である。

4.2. CBIに基づく授業デザイン

CBI (Content-Based Instruction 内容重視教育) とは、ある特別な内容と言語を統合して教えるというもので、具体的には教科内容と第二言語の技能とを同時に教えることである¹³。CBIは厳密な方法論を規定しているわけではなく、むしろ思想的・哲学的な枠組みとして捉えられる。その枠組みの中にも様々なアプローチが存在するが、その根底にあるのは「内容重視」という考えである。「内容重視」と言っても、CBIはただ内容に焦点を当てるということだけではなく、内容重視教育では内容と言語スキルのバランスがとれた教育が期待される。

前述したように、台湾における各大学の応用日本語学科のカリキュラムを見ると、一年生と二年生では、言語に重点が置かれ、それに関わる言語スキルの科目が多く設けられている。それに対し、三

¹² セメスター制は学校の1年間を2期に分ける制度のことを指す。

¹³ 清田(2001)p.78

年生と四年生では、内容に関する専門科目が多く取り入れられ、かなりの割合を占めている。しかし、この段階の学生たちの多くは、ちょうど初級を乗り越え中上級にあがっていきけるかどうかといった日本語レベルにあり、指導の上で特に配慮が必要な大事な時期である。専門分野の授業がかなりの割合を占める場合、教師が専門性のある「内容」¹⁴に重点を置く一方、学生の言語習得のための工夫をしないと、学生が初級日本語レベルのままで卒業してしまう恐れがある。よって、専門分野教育においても日本語の習得に配慮し、内容と日本語を統合する「内容重視教育」を行なうべきだと考える。こうしたCBIの理念に基づき、異文化理解の専門科目と位置づけられる「日本名著選讀」の学習目標を、具体的に次のように設定した。

内容面においては、日本近代文学の歴史を概観し、すでに一定の評価を得ている文学作品を様々な角度から読み取り、理解することを目指す。そして、作者に主眼を置き、作者の思想や文学史における位置づけや役割を考察し、近代の作家たちが描いた人間像を当時の社会や文化との関係にも注意を払いながら読解する。一方、言語スキルの面に関しては、小説作品を読むことにより、日本語の読解力、より高いレベルの語彙能力を伸ばすことを目指す。つまり日本文学作品の鑑賞を介し、同時に日本語学力を向上させるのが狙である。

4.3. 指導上の工夫とシラバス

実用志向の応用日本語学科においては、日本文学に興味を持つ学生は決して多いとは言えない。2019学年度の最初の授業で履修生に日本文学に興味があるかどうかについて、アンケート調査を行った。62人の回答者の中、「興味がある」と答えた人は僅か26人で、全体の42%程度であった¹⁵。よって、いかにして学生の動機づけを高めるかが教師に課せられた重要な課題である。

学生が日本文学を教材として、文学作品の読み方や楽しみ方を学ぶと同時に日本語力を向上することができるように、筆者は指導法

¹⁴ ここで言う「内容」はそれぞれの科目に関わる専門分野の内容である。

¹⁵ 詳しくは後述する。

において、様々な工夫を凝らした。まず、教材については、文字教材の外に、映画、アニメ、ドラマなどのメディア素材も導入した。そして、無料朗読ホームページを利用して音声で表現する文学作品を聞かせ、文学の鑑賞力を育成させ、さらに文章の理解にインパクトを与えた。多元的な素材を導入することにより、学生のモチベーションを強化した上、筆者が自作したPPT教材（作者の紹介、作品解析、文章解説）を利用して、メイン教材の小説に関して、作家の背景を紹介したり、原文における日本語の構造や意味を解説したり、小説の解析をしたりした。最後に、作品に対するディスカッションや感想文を書くことにより学生の思考力を働かせる工夫をした。

シラバスに関しては、学年度によって取り上げた作品が多少異なるが、2019学年度のシラバスは下の表4の通りである。

表 4: 2019 学年度シラバス表

週次	単元	単元大綱
1	1	課程説明 日本近現代文学概要
2	2	太宰治 黄金風景
3	2	太宰治 黄金風景
4	3	夏目漱石 ころ
5	3	夏目漱石 ころ
6	3	夏目漱石 ころ
7	3	森鷗外 高瀬舟
8	4	森鷗外 高瀬舟
9		期中考
10	4	森鷗外 舞姫
11	5	森鷗外 舞姫
12	6	芥川龍之介 藪の中 黒沢明 映画羅生門
13	6	芥川龍之介 藪の中 黒沢明 映画羅生門
14	6	芥川龍之介 藪の中 黒沢明 映画羅生門
15	7	人間失格はしがき
16	7	人間失格はしがき
17	8	休み
18		期末考

週次	単元	単元大綱
1	1	坂口安吾 桜の森の満開の下
2	1	坂口安吾 桜の森の満開の下
3	2	川端康成 雪國
4	3	川端康成 雪國
5	4	川端康成 雪國
6	5	谷崎潤一郎 春琴抄
7	5	放假
8	6	谷崎潤一郎 春琴抄
9		期中考
10	7	谷崎潤一郎 春琴抄
11	8	芥川龍之介 蜘蛛の糸
12	9	芥川龍之介 蜘蛛の糸
13	10	復習
14		卒業考

左：前期 右：後期

4.4. 実際の授業活動

授業形態と指導法については、取り上げた作品や題材によって、異なる場合があるが、以下、「日本近現代文学概要」と「夏目漱石ころ」の単元を例として、実際の授業活動を報告する。

4.4.1. 日本近現代文学概要

この単元では自作 PPT 教材を利用して、日本近現代文学を歴史的視点から概観しながら、主な作家と作品を紹介する。学生は教師の説明により学習シートに作家名と代表作を書き込む。図 6 は PPT 教材の例と学習シートである。



図 6: 教材例と学習シート



図 7: PPT 教材とホームページとの連動

また、より多くの情報を学生に提示するため、図 7 のように、利用できるホームページのアドレスも予め PPT 教材に取り込んでおき、授業中に随時アクセスして活用している。図 7 のアドレスをクリックすると、『金色夜叉』のあらすじ、歌、熱海市の公式サイトなどの情報が見られる。明治 30 年から 35 年まで、読売新聞に連載された尾崎紅葉の『金色夜叉』により熱海は一躍脚光を浴び、観光は

急速に上昇発展し観光都市へと変貌していた。熱海市の公式サイトには、主人公の貫一とお宮の像の写真やこの小説と熱海市の関連性についての情報が提示されている。例えば、貫一がお宮を足蹴して立ち去るシーンを基に構図された像などである。

本単元の所要時間は2時間である。そして、近代の作家たちについて、ある程度認識があれば、これからの授業もよりスムーズに進めると思い、その次の授業で作家名、作品の日本語の読み方や作家の代表作などの小テストを行う。

4.4.2. 「夏目漱石ころろ」

本単元は3週間に渡る、計6時間の授業である。使用する教材、リソース及び到達目標を、授業の流れに沿って次の表5にまとめた。

表5: 『ころろ』の授業展開

授業の流れ	使用教材とリソース	目標
作家と代表作の紹介	自作PPTとプリント	作家の背景が理解できる。
映像作品鑑賞	『青い文学シリーズ』 『名作ってこんなに面白い』	作品のあらすじが理解できる。
原文読み	「ころろ下33」 朗読ファイル	作品の解説と日本語力の向上
作品解析	自作PPT、NHK「100分de名著夏目漱石ころろ」番組の録画	作品の中から作者の意図を読み解くことができる。
ディスカッション	教師の発問	作者が作品を通して伝えたかったことを考えさせる。
感想文を書かせる (教室外活動)	Moodleの「フォーラム」機能	感想の共有

作家と代表作の紹介

授業は作家の紹介から始め、使用する教材は次の図8のプリントと図9の自作PPT教材である。プリントは『文豪ナビ夏目漱石』¹⁶によるものである。PPT教材はインターネットリソースの連動を配慮し、各学習項目に応じて利用できるホームページのアドレスも予

¹⁶ 新潮文庫発行・編集(2004)。

めパワーポイント教材に取り込んでおき、授業中に随時アクセスして活用している。例えば、次の図 9 のスライドに線で囲んだところをクリックすると、動画共有サービス：ユーチューブ【YouTube】の画面に連結でき、夏目漱石の生涯の紹介と映画『三四郎』の紹介内容が視聴できる。

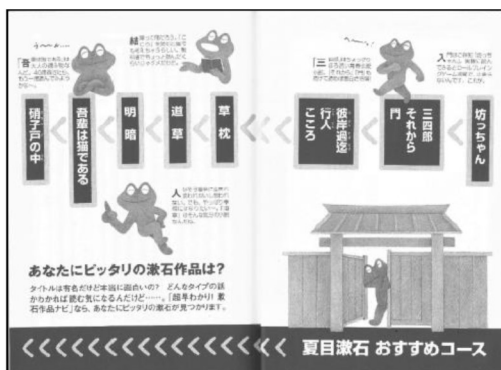


図 8: プリント例



図 9: PPT 教材

映像作品鑑賞

次いで、『こころ』に関する映像教材の鑑賞である。使用した素材は『青い文学シリーズ』¹⁷と『名作ってこんなに面白い』¹⁸の DVD である。『青い文学シリーズ』は日本テレビで 2009 年 10 月から 12 月まで放送されたアニメ作品で、太宰治の『人間失格』と『走れメロス』、坂口安吾の『桜の森の満開の下』、夏目漱石の『こころ』、芥



図 10: 表紙例

¹⁷ 販売元は Happinet である。台湾の代理販売会社は博英社である。本コースでは中国語字幕付きの台湾版を使っている。

¹⁸ <http://www.yumani.co.jp/np/inner/111111142> (まゆに書房) 本コースで使用しているのは本校の図書館が所蔵する著作権処理済商品である。

川龍之介の『蜘蛛の糸』、『地獄変』の6作品からなる全12話のTVアニメである¹⁹。『青い文学シリーズこころ』は夏目漱石原作の「下」パート²⁰を中心にアニメ化されたものであり、シリーズの第7～8話として放送された。物語の結末は原作と変わらないが、監督独自の観点で、7話は主人公の「先生」、8話はもう一人の主要人物である「K」の目線から描かれたものであり、原作小説に忠実でない部分もある。ただし、林（2020）が指摘したように、このシリーズはキャラクターデザインが若者の間で人気の『週刊少年ジャンプ』の漫画家によるものであり、アレンジを加えたことでエンターテインメント性も向上したため、学生にとって鑑賞意欲が一番高まるアニメシリーズになっていると思われる²¹。

映像作品と原典とのギャップに関するディスカッションもまた面白そうな授業展開になるが、映像作品と原作とのギャップを埋めるため、教師が原作の構成と内容を説明して、アニメとの違いを明確に提示する必要がある。本コースでは、ゆまに書房より発行された『名作ってこんなに面白い』というDVD教材も併用する。このシリーズは日本近代文学から代表的20作品を選び、ドラマやアニメでストーリーを紹介し、作品だけではなく、作家のプロフィールや作品の背景についてもわかりやすく解説している。1作品約10分～20分で完結し、授業に適した映像教材である。このシリーズは元より教育用に制作されたものであるため、原作に忠実で、原作を彷彿とさせるストーリー展開が特色だと出版社のホームページで紹介されている。また、言語面の学習の配慮もあり、字幕ありの『青い文学シリーズ』を視聴した後、締めくくりとして、このシリーズのような字幕なしの映像を見せ、作家のプロフィールや作品のあらずじを反芻させると同時に聴解力の向上にも役立つだろう。

原文読み

¹⁹ 1話の長さは40分程度。

²⁰ 『こころ』は1914年に発表された夏目漱石の晩年を代表する小説で、上の「先生と私」中の「両親と私」下の「先生と遺書」の三部で構成されている。

²¹ p.54

取り上げたのは前述した映像教材のメイン内容の一つでもある「ころ下 33」²²である。自作の文法説明 PPT 教材を利用して、語彙や文の構造、それに小説に現れた場所やその時代の事物に関する説明を行う。ある段落の説明を終えたら小説の朗読を聞かせながら、教えた内容や文章を反芻させる。PPT 教材の例は次の図 11 の通りである。右のスライドにあるアクセスをクリックすると「菟蓐閻魔」の説明映像が視聴できる。

三十三

「十一月の寒い雨の降る日の事でした。私は外套を濡らして例の通り菟蓐閻魔を抜けて細い坂路を上って宅へ帰りました。Kの室は空虚でしたけれども、火鉢には継ぎたての火が暖かそうに燃えていました。私も冷たい手を早く赤い炭の上に翳そうと思って、急いで自分の室の仕切りを開けました。すると私の火鉢には冷たい灰が白く残っているだけで、火種さえ尽きているのです。私は急に不愉快になりました。

物の上へ、手などをおおうように差し出す 弱す

三十三

「十一月の寒い雨の降る日の事でした。私は外套を濡らして例の通り菟蓐閻魔を抜けて細い坂路を上って宅へ帰りました。Kの室は空虚でしたけれども、火鉢には継ぎたての火が暖かそうに燃えていました。私も冷たい手を早く赤い炭の上に翳そうと思って、急いで自分の室の仕切りを開けました。すると私の火鉢には冷たい灰が白く残っているだけで、火種さえ尽きているのです。私は急に不愉快になりました。

図 11: PPT 教材例

なお、『ころ』のような長篇小説は原文の一部を取り上げて読解することになっているが、芥川龍之介の『蜘蛛の糸』のような短編は全文精読の形を取っている。

作品解析

このセッションで用いた教材と素材は教師が自作した作品解析 PPT 教材や作品の紹介と分析に関する映像や専門書から抽出した作品分析の内容などである。『ころ』の単元で利用したのは 2014 年

²² 原文は青空文庫より。 <https://www.aozora.gr.jp/>

4月17日にNHK「100分 de 名著」²³という番組で放送された「夏目漱石ころろ part3」『自分の城が崩れる時』の録画である。この番組は1冊の名著を25分×4回、つまり100分で読み解いていくため「100分 de 名著」というのである。「夏目漱石ころろ」は『わたしたちの孤独』『先生という生き方』『自分の城が崩れる時』『あなたは真面目ですか』という四つのテーマで四週間に分けて放送されたが、授業時間の制限もあり、本單元では part3 の『自分の城が崩れる時』だけを取り上げた。番組では司会者とゲストの姜尚中²⁴との対談を通して登場人物の心境を分析する外、マンガで小説内容を紹介することや小説の朗読なども番組に織り込んでいる。次の図12は番組から取った場面である。



図12: 番組から取った場面

『自分の城が崩れる時』というテーマにおいては、「K」という人物は「先生」にとって、どのような存在だったのか、その自殺の真意はどこにあり、何を意味しているのかについてその死をめぐって姜尚中先生が分析していた。

授業の進め方については、一気に学生に番組の内容を見せるのではなく、教師の説明と番組鑑賞を交代に行う。時間を節約するため、番組にある朗読の部分は必要のところだけ取り上げることにした。また、番組は日本語の字幕が付いているので、文学的分析のような難しい日本語の聞き取りに役立つと考えられる。

ディスカッションと感想を述べる

教師は作者や登場人物の心情を問うような発問をする。例えば、

²³ <https://www.nhk.or.jp/meicho/>（「100分 de 名著公式サイト」）授業で使用したのは筆者が録画したものである。

²⁴ 東京大学名誉教授。専攻は政治学・政治思想史であるが、夏目漱石に傾倒し、テレビ番組で漱石について語ったり、本を書いたりしている。

「あなたが K²⁵だったらどうしますか。」「お嬢さんは K との関係についてどう思っていますか。」などの問いを投げ、学習者に考えさせ、意見を交換する。最後に下の図 13 のようにコース管理システム Moodle の「フォーラム」機能を利用して、学生に『ころ』に関する感想を述べさせ、情報の共有を図る。

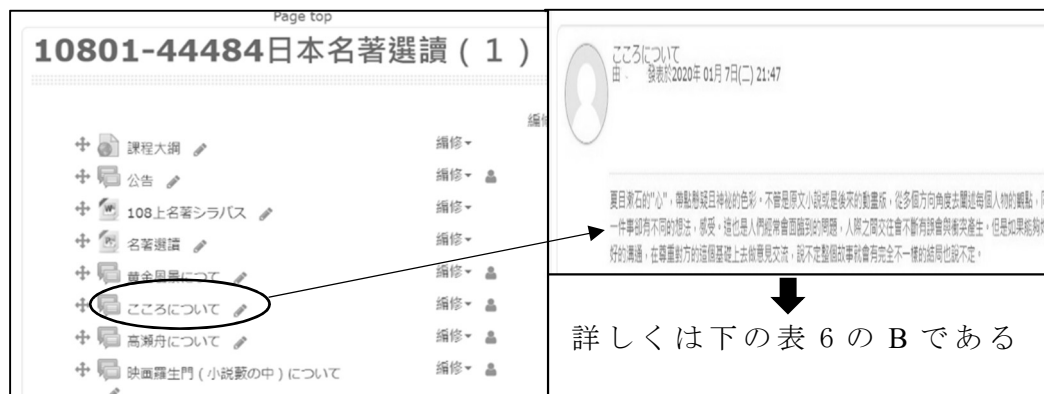


図13: Moodleの「フォーラム」を利用する画面

学生の感想の幾つかの例を取り上げ、次の表6にまとめる。なお、紙幅の関係もあり、学生の感想を忠実に現すため、中国語で書いた場合²⁶、そのまま提示する。内容の一部だけ抽出したのものもある。

表6: 感想文の例

学生	感想
A	第一次老師在課堂上介紹這個故事的時候，還不太了解夏目漱石這個作家，雖然ころ這個故事只讀了大部分的章節，卻讓人可以一再一再地思考故事中每個角色之間的關係 ²⁷ 。
B	夏目漱石的'心'，帶點懸疑且神祕的色彩。不管是原文小說或是後來的動畫版，從多個方向角度去闡述每個人物的觀點，同一件事卻有不同的想法，感受。這也是人們經常會面臨到的問題，人際之間交往會不斷有誤會與衝突產生。但是如果能夠好好的溝通，在尊重對方的這個基礎上去做意見交流，說不定整個故事就會有完全不一樣的結局也說不定。
C	看完這個故事之後，會讓我很想要知道小姐到底喜歡誰，以我來看的話，她應該喜歡的是 K 吧，不過這也只是我的

²⁵ 主人公「先生」が親友である「K」と同じ女性を争って、その恋のもつれの果てに彼を自殺させてしまった。

²⁶ 学生が気楽に自分の考え方を述べられるよう、特に日本語で書くとは規定していない。日本語で書いた学生もいるが、中国語の方が多い。

²⁷ 下線は筆者による。

	猜想。
D	動畫的畫面讓我太驚嚇了.....直到現在還是對 K 有種不喜歡的感覺。但就文字而言，我很喜歡這部作品，細膩的描寫了人的心， <u>有機會會想去把全部看完。</u>
E	心這部作品大多數人說非常沉悶，但我覺得這部的心靈描寫和人物之間的互動其實非常有趣。將人性描寫的唯妙唯肖。
F	原本看起來像是一樁愛情悲劇，但 <u>從各種角度去深入探討卻有多方意涵。</u>
G	我覺得心是一篇很複雜的故事,也因為無從考證角色之間相對定位因而更增加了許多謎團。不過也 <u>因為疑點重重才使"心"這篇故事成功帶動許多人的心。</u>

以上のような感想から学生の授業という認知活動を通した文学の読解に対する情意の生起が窺える。姜尚中(2013)²⁸には漱石の小説について次のようなコメントがある。

漱石の小説は、このようにいくらかでも多義的な読みを許すところに大きな特徴があります。この『こころ』も、教養小説としても読め、純愛小説としても読め、友情小説としても読め、同性愛小説としても読め、どうとでも読めてしまいます。なぜ多義的に読めるかという、漱石は「謎を投げ出す」だけで、「謎とき」をしないからです。(中略)おそらく謎をしないのが文学だからです。

こうした文学の多義性的な読み方を、学生は教師が用意した多様な教材や素材による『こころ』の読解で獲得したと言えよう。そして授業外での学習を促すため、授業で使用した教材と素材は映像教材を除き、図 14 のように授業開始前に Moodle にアップロードする。

²⁸ pp.88-89



図14: Moodleにアップロードした教材

以上、「日本近現代文学概要」と「夏目漱石ごころ」の単元を例として「日本名著選讀」における授業の進め方について述べてきた。他の各単元における主な教材とリソースについて表7にまとめた。

表7: 各単元における主な教材とリソース

単元	教材、リソース
太宰治 『黄金風景』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材『BUNGO-日本文学シネマ』 ²⁹ 、小説原文プリント、無料朗読ファイル
森鷗外 『高瀬舟』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材『BUNGO-日本文学シネマ』、小説原文プリント、無料朗読ファイル、作品解析 PPT
森鷗外『舞姫』	鑑賞のみ『青春アニメ』 ³⁰
芥川龍之介 『藪の中』、黒澤明『羅生門』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材『映画羅生門』、無料朗読ファイル、『藪の中』の原文プリント、作品解析 PPT、映画『羅生門』と小説『藪の中』の比較 PPT
太宰治 『人間失格』	作品解析 PPT、『人間失格』のはしがき文字教材、無料朗読ファイル
坂口安吾 『桜の森の満開の下』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材『青い文学シリーズ』、無料朗読ファイル、映画『桜の森の満開の下』、作品解析 PPT、原文読みのための文法説明 PPT
川端康成 『雪国』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材映画『雪国』、作品解析 PPT、原文読みのための文法説明 PPT、常盤貴子朗読、演歌「雪国～駒子その愛」坂本冬美

²⁹ 短編小説を代表する6作「黄金風景」「檸檬」「高瀬舟」「魔術」「富美子の足」「グッド・バイ」を30分間のテレビドラマで綴るDVD。2010年アニプレックスより発売。台湾では、采鋸國際多媒體股份有限公司より発売されている。本授業では台湾版を使用している。

³⁰ 1986年に日本テレビで放送されたテレビアニメ作品で、日本の近代以降の文学作品を中心にアニメ化したのが特徴である。一回の時間が25分から30分である。本コースでは本校の図書館が所蔵する著作権処理済商品を利用している。

谷崎潤一郎 『春琴抄』	作家紹介 PPT とプリント、映像教材『青春アニメ』、 原文プリント、原文読みのための文法説明 PPT
芥川龍之介 『蜘蛛の糸』	映像教材『青い文学シリーズ』、アニメ、原文プリント、 原文読みのための文法説明 PPT、無料朗読ファイル

評価法に関しては、コース終了時、総括評価として次のような項目と割合で成績を付ける。中間テスト 30%、期末テスト 30%、平常点 40%となっている。中間と期末テストは小説の原文の読解を中心としたペーパーテストで、試験内容は語彙や作家名、作品名の読み方、作家や作品に関する知識、文章の中国語翻訳などである。平常点の 40%は語彙の小テスト、朗読、感想文など、多角的に総合評価をする。

5. 学習者に対するアンケート調査結果

5.1. 授業開始時における日本文学の関心度調査結果

学習者の背景調査の一環として、2019 学年度前期の最初の授業で履修者に日本文学に興味を持っているかどうかについて、アンケート調査を行った。調査は①大変興味がある、②興味がある、③普通、④興味がない、⑤全然興味がない、という 5 段階評価の方法を取っている。有効回答数 62 名の結果は、下の図 15 のようになる。

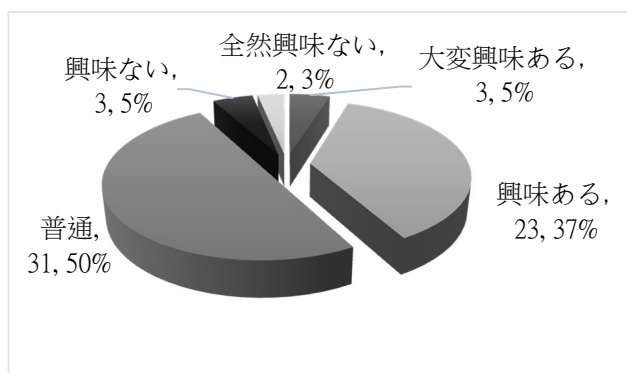


図 15: 日本文学に対する興味

図 15 に示すように、日本文学に「大変興味がある」と答えた学生は僅か 3 人で、全体の 5% 程度、「興味がある」と答えた学生は 23 名で、日本文学に興味がある学生は合わせて 42% という結果であった。

それに対して、「普通」を選んだ学生が最も多く、全体の 50%を占めていた。そして、「興味がない」と「全然興味がない」と答えた学生は 5 名で合わせて 8%であった。実用志向の応用日本語学科の学習者にとって、日本文学は特に嫌いではないが、積極的にアプローチしたい科目でもないことが調査結果から窺える。このように、動機づけの弱い学習者に直面して、どのように学習意欲を引き出すのが、教師にとって重要な課題である。

5.2. 授業終了時の調査にみる学生の情意的変化と動機づけの強化

2019学年度前期の学期末に履修者を対象にコース全体に対する感想や意見について自由記述のアンケート調査を行った。64名の有効回答を得た。回答データには、様々な情報が含まれているので、全体を把握するため、KJ法³¹によりデータを分類した。

学生のコメントには特にマイナスの意見は見られず、コース全体に肯定的な評価がされているが、本授業が肯定的に評価された要素を明らかにするため、それに関わる発言を 100 項目抽出し、大きく四種類に分けた。それぞれの発言の頻度を次の図 16 に示す。

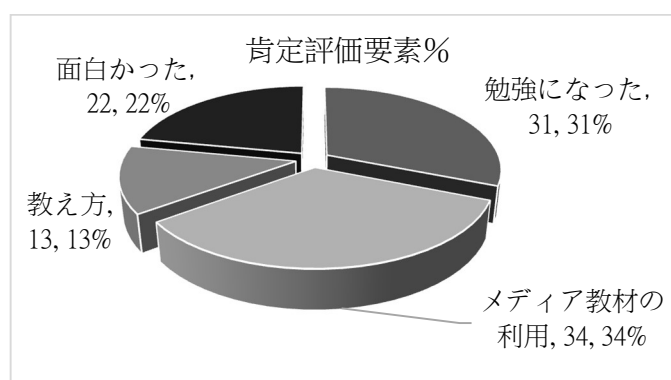


図 16: 評価要素と発言頻度

図 16 に示したように、もっとも評価された点はメディア教材の導入で 34 項目、全体の 34%を占めている。生教材、インターネットリソース、映像教材の導入に関わる教材の多様さ、とくに文学作

³¹ KJ法とは蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎあわせて整理し、統合する帰納的分析方法の一つで、文化人類学者川喜田二郎が考案した技法である。その氏名の頭文字をとってKJ法と名付けられている。

品を元にしたアニメ、映画、ドラマなどの映像教材は学習者に強いインパクトを与えたことが窺える。映像教材のメリットに関して、「短時間で作品のあらすじや輪郭をつかむことができる。」「授業で映像作品が鑑賞できて特別な授業だと思う。」「文字教材より映像の方がインパクトが強く、印象に残る。」「退屈そうな文学作品だが、映像作品の併用により面白くなった。」などのコメントが見られた。

次いで、「勉強になった」と書かれた内容が31項目で31%と続く。中でも、「たくさん勉強になった。」「いろいろな知識を学んだ。」など大ざっぱなコメントもあれば、「日本文学作品や知識を学んだ。」「日本文学に対する理解が深まった。」など、はっきりと日本文学に焦点を当たった発言もあり、それに「日本語の語彙力が高まった。」「先生の文章に対する説明は文法の復習にもなる。」「作品から美しい言葉をたくさん覚えて嬉しかった。」など、日本語力の向上についての内容もある。こうした結果から、本コースの狙いの一つである「内容重視教育」の目的が達成できたと言えよう。

そして、「授業が面白かった」というコメントも多く見られ、全体の22%を占めていた。これは、前述した多様な教材やリソースの利用に繋がりがあると考えられる。例えば、「映像教材も朗読もあり面白かった。」「映画が面白かった。」などの発言が多く見られた。最後は教師の教え方に関する評価である。「先生は真面目に教えてくれた。」「授業の段取りがよかった。」「PPTでの説明が分かりやすい」などの発言が例として挙げられる。

以上のようなコメントと前述した学生による感想文から学生の情意的変化や動機づけの強化が窺える。授業前の調査では日本文学を積極的に学ぼうとする学生が少なかったが、一学期の授業を終え、「授業が面白かった。」「文学が面白かった。」「もっと日本文学を知りたい。」「図書館に行って文学の本を探したい。」「後期の授業を楽しみにしている。」「これからどんな作品が取り上げられるか、わくわくしている。」などといった学生のコメントを読んで、教師として努力した甲斐があったと身にしみて感じた。

6. おわりに

以上、実用志向の応日系において、日本文学関連科目がどのような役割を果たすことができるかを考えた上、「日本名著選讀」を事例として、授業デザインの理念、シラバス・デザイン、指導法、実際の授業活動について述べてきた。授業開始時のアンケート調査から分かるように、学生にとって日本文学の授業は嫌いでもない、好きでもない存在であった。こうした動機欠如の困難を打開し、学生の学習意欲を引き出すため、本授業において、指導法を考えるに当たり、利用できる学習リソースを包含的に配慮した。多様なリソースを有機的に活用することにより、学習者により多い情報とリソースを提供し、動機付けを高めることに努めた。そして、授業終了時のアンケートでは、学生の情意的変化と動機づけの強化という成果が見られた。

筆者は長年に渡り、異文化理解の専門科目として位置づけられた「日本名著選讀」を担当してきた。学生の日本語能力の成長にも配慮し、日本文学関連科目と日本語教育とをどのようにして効果的に連動させるのかは筆者がずっと考えてきた課題である。そして、試行錯誤を重ねてできた授業デザインを本実践報告にまとめた。これからも実践研究の基本である PDCA サイクルを基に、授業をより精緻化させるために挑戦していきたい。本稿の結果が日本語教育に役に立てば幸いである。

参考文献

- 岡崎眸(2002)「内容重視の日本語教育」『ことばと文化を結ぶ日本語教育』細川英雄(編) 東京：凡人社、pp.49-66
- 姜尚中(2013)『夏目漱石『こころ』』東京：NHK 出版
- 瀨瀨憲子・長谷川敦志・安田真乃・松本一美(2008)「初級レベルにおける「内容重視教育」を目指して」畑佐由紀子編『外国語としての日本語教育 多角的視野に基づく試み』東京：くろしお、pp.135-150

- 清田淳子(2001)「教科としての「国語」と日本語教育を統合した内容重視のアプローチの試み」『日本語教育』111 東京：日本語教育学会、pp.76-85
- 佐野ひろみ(2009)「目的別日本語教育再考」『専門日本語教育研究』11、京都：専門日本語教育学会、pp.9-14
- 張桂娥(2015)「アニメ化された日本文学教材利用の意義と可能性－アニメ『青い文学シリーズ』「蜘蛛の糸/地獄変」の授業実践事例を中心に－」『東呉日語教育學報』44期、台北：東呉大学日本語学科、pp.207-235
- 林長河(2009)「中上級日本語教育の観点から見る「日+α」という枠組みについて」『東呉日語教育學報』32期、台北：東呉大学日本語学科、pp.23-52
- 林雪星(2009)「名著選読の指導試行－森鷗外「高瀬舟」を例として」『東呉日語教育學報』32期、台北：東呉大学日本語学科、pp.1-22
- 林曉淳(2020)「日本文学関連アニメ・マンガの日本語授業への利用－台湾の日本語教育への活用を目指して－」『銘傳日本語教育』23期、桃園：銘傳大学応用日本語学科、pp.41-65

参考資料

- 映像教材『BUNGO－日本文学シネマ』<https://www.bungo.jp/>
(2020年10月30日検索)
- 『青い文学シリーズ』<https://www.ntv.co.jp/bungaku/>
(2020年11月2日検索)
- 『青春アニメ』<https://www.nippon-animation.co.jp/work/1499/>
(2020年11月2日検索)
- 『名作ってこんなに面白い』
<http://www.yumani.co.jp/np/isbn/4896689070> (2020年11月5日検索)
- 青空文庫<https://www.aozora.gr.jp/> (2020年10月30日検索)